

6月22 - 26日週のユーロ円レビュー

June 29, 2009

ユーロドル上昇もリスク選好後退が重石

High : 134.99 円 Low : 131.41 円

Close : 133.96 円

ユーロ円は、世銀による成長率見通しの下方修正を受けて売りが先行。その後はドル売り優勢でユーロドルが上昇したものの、ユーロ円はリスク選好の動きの後退で、上値が限定される動きとなった。

6/22 (月) 133.10 円

世界銀行が世界の成長率見通しを下方修正。リスク選好の動きが後退し、ユーロドルは 1.38 ドル前半、ユーロ円は 132 円半ばまで下落。独 Ifo への反応は限定的。

6/23 (火) 134.10 円

反発。前日の流れを引き継ぎ、ユーロ円は一時 131 円半ばまで続落した。その後はショートカバーが優勢。ユーロドルは、ウェバー独連銀総裁の「ECB は利下げ余地を使い果たした」との発言を受けてストップロスの買いをつけ、一時 1.41 ドル台を回復。ユーロ円も 134 円台まで上昇した。

6/24 (水) 133.26 円

反落。ユーロ円は、ロシア系の買いで 135 円回復目前まで続伸。しかし一段の買いにはつながらず、FOMC での資産買い取り規模の据え置きを受けて米金利が上昇するとドル買いが優勢に。ユーロドルが 1.39 ドル割れまで急落し、ユーロ円も一時 133 円割れとなった。

6/25 (木) 134.30 円

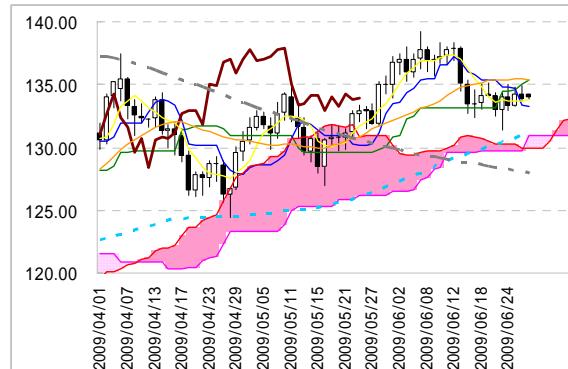
上昇。リスクイベントの FOMC をこなし、ユーロ円は 134 円後半までショートカバーが先行。しかし米新規失業保険申請件数の悪化を受け、ドル円、クロス円の売りが優勢となって 133 円前半へ反落した。ただ、米 7 年債入札が順調な結果となると、米債利回りの低下を受けたドル売りでユーロドルが 1.4 ドル台まで上昇。ユーロ円も 134 円台を回復した。

6/26 (金) 133.96 円

下落。中国人民銀行が新たな準備通貨を創設すべきとの見解を示したほか、3ヶ月物ドルLiborが初の0.60%割れとなりドル全面安。ユーロドルは 1.41 ドル台を回復した。しかしユーロ円は、ドル円下落の円買いが重石となり上値の重い動きとなった。

月日	High	Low
6/22 (月)	134.23 円	132.50 円
6/23 (火)	134.40 円	131.41 円
6/24 (水)	134.99 円	132.98 円
6/25 (木)	134.82 円	133.20 円
6/26 (金)	134.94 円	133.70 円

ユーロ円の推移



テクニカル短期・中期ポイント

138.33 (6月10日高値)

135.38 (6月16日高値)

==== 先週末の NY クローズ 133.96 円 =====

132.98 (6月24日安値)

131.41 (6月23日安値)

欧州の重要指標結果

6/22 (月) [結果] (前回)

独 6 月 Ifo 景況感指数 [85.9] (84.3)

独 6 月 Ifo 現況指数 [82.4] (82.5)

独 6 月 Ifo 景気期待指数 [89.5] (86.0)

6/23 (火) [結果] (前回)

独 6 月製造業 PMI・速報値 [40.5] (39.6)

独 6 月サービス業 PMI・速報値 [44.3] (45.2)

ユーロ圏 6 月製造業 PMI・速報値 [42.4] (40.7)

ユーロ圏 6 月サービス業 PMI・速報値 [44.5] (44.8)

ユーロ圏 6 月総合 PMI・速報値 [44.4] (44.0)

6/25 (木) [結果] (前回)

ユーロ圏 4 月鉱工業新規受注 [-1.0%] (-0.2%)

6/26 (金) [結果] (前回)

仏 6 月 INSEE 消費者信頼感指数 [-37] (-40)

アウトルック ダイジェスト版

レンジ : 128.00 - 137.00 円

ユーロドルが 1.41 ドル台を回復するなど底堅かった一方、ドル円の下落もあってクロス円が上値の重い動きとなり、ユーロ円は 134 円近辺のレンジに集束。次に放れる方向をうかがう展開。テクニカル的に見た目先のポイントは、遅行スパンがローソク足の下げ（陰転 = 売り示唆）を回避できそうかどうか。